第 49 回
鉄構塗装技術討論会
開催のご案内

主催：一般社団法人 日本鋼構造協会

協　　賛（予定）　(一社)色材協会　(公社)土木学会　(一社)日本橋梁建設協会
(一社)日本橋梁･鋼構造物塗装技術協会　(一社)日本鉄鋼協会
(一社)日本塗装技術協会　(一社)日本塗料工業会
(一財) 日本塗料検査協会
(公社)腐食防食学会　(公財)スガウェザリング技術振興財団

■本討論会は土木学会認定 CPD プログラムです。
[認定番号：10 月 22 日 JSCE26-1355・10 月 23 日 JSCE26-1356]

近年、日本の塗料・塗装業界は、これまでにない大きな変化の波に直面しています。世界的なエネルギー情勢の変化による原料不足や価格高騰への対応に加え、国内では少子高齢化による技術者不足や次世代への技術継承が深刻な問題となっています。その一方で、高度経済成長期につくられた社会インフラが急速に老朽化しており、これらを少ない人手で効率よく長寿命化させる防食・維持管理技術への社会的要請は一刻の猶予も許されない状況にあります。こうした多くの課題を解決し、この分野の持続可能性を確かなものにするためには、これまでの常識にとらわれない新しいアイデアや、官・民・学などが立場を越えて協力していくことが不可欠です。

数ある防食技術の中でも、塗装は明治以来、鋼材の防錆・防食技術として長年にわたり適用されてきた実績と信頼性を有しており、現在においても重要な地位を占めています。最近でもなお、従来よりもさらなる高耐久化、施工効率の改善、環境リスクの低減、労働安全衛生の確保といった様々な方向性で、塗料・塗装技術の改善が精力的に続けられており、この分野のさらなる発展が期待されています。本討論会は、これら塗料・塗装に関連する技術の発表と討論の場として開催されるものであり、鋼構造物に携わる多くの方々に積極的にご参加いただくことを期待しております。鋼構造物塗装に関する諸問題の解決に向けて、自由な発表を歓迎いたします。

次頁の要領にて開催いたしますので、奮ってご参加くださいますよう、また、関係各位へのご周知を、重ねてお願い申し上げます。

今年度も本討論会へ多数のご参加を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

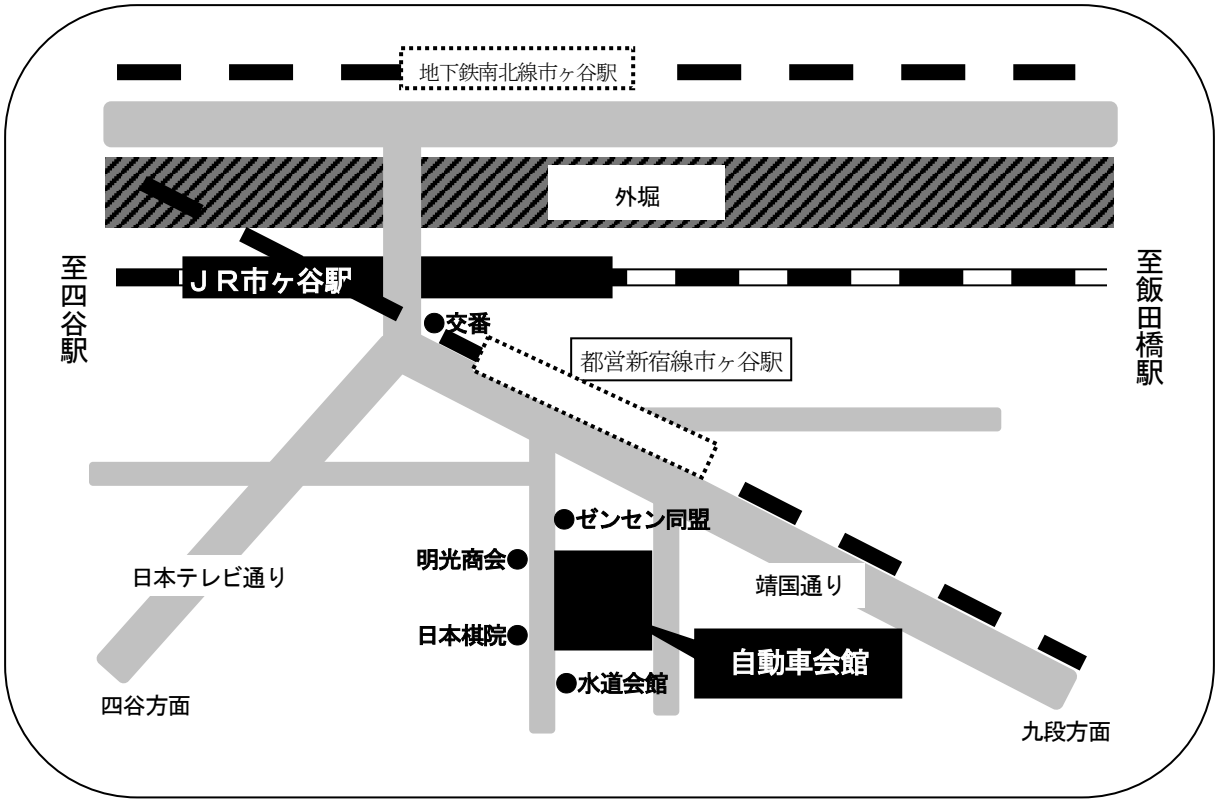
鉄構塗装技術討論会実行委員長：冨山　禎仁（鋼構造物塗装小委員会委員長）

開 催 要 領

1. 日　　時：2026 年 10 月 22 日(木) ～ 23 日(金)
2. 会　　場：自動車会館 ２階 大会議室
　　〒102-0074　東京都千代田区九段南 4-8-13 （電話）03-3264-4719
3. 参 加 費：会員（協賛団体も含む）…11,000 円（消費税込み）
　　一般　　…14,300 円（消費税込み）
　　官公庁職員・学生　　…11,000 円（消費税込み）
4. 申込方法：下記よりお申込下さい。
　　指定の用紙を協会宛てにメールしてください。
　　申込期日は、１０月８日(木)といたします。
　　※お申込み後の参加取り消しおよび欠席者への受講料払い戻しは致しませんので
　　ご注意ください。（後日、討論会発表予稿集を送付させていただきます。）

5. 問合せ先：一般社団法人日本鋼構造協会「第 49 回鉄構塗装技術討論会」係
　　【 E-mail: jssc-paint@jssc.or.jp 】
　　〒110-0015　東京都台東区東上野一丁目２８番９号
　　キクヤビル５階
　　TEL. 03-3516-2151

会 場 案 内 図



【第１日】 10月22日（木）

10:30～10:35	開会の辞	鉄構塗装技術討論会　実行委員会　委員長：冨山 禎仁（(国研)土木研究所）		
司 会：矢ヶ部 菜月((株)ＩＨＩ)				
①	10:35 ～ 11:05	ふっ素樹脂塗料上塗の塗膜減耗量調査	○後藤 宏明 (一財)日本塗料検査協会	山本真人((一財)日本塗料検査協会) 関島竜太((一財)日本塗料検査協会) 藤本貴正((株)高速道路総合技術研究所) 飯尾翔磨((株)高速道路総合技術研究所)
②	11:05 ～ 11:35	短期屋外暴露試験および促進耐候性試験を通したC-5塗装系の硬さ評価に関する研究	○佐藤 顕彦 京都大学大学院 工学研究科社会基盤工学専攻	高橋みのり(京都大学大学院) 木田秀人(京都大学大学院) 松本理佐(京都大学大学院) 北根安雄(京都大学大学院) 杉浦邦征(京都大学大学院) 冨山禎仁((国研)土木研究所)

＜昼　休：11時35分～12時50分＞

特　別　講　演	（司 会：坂本 達朗（(公財)鉄道総合技術研究所））	
12:50～13:50	橋梁塗装におけるレーザー素地調整の現状と将来展望	光産業創成大学院大学 教授　藤田和久

＜休　憩：13時50分～14時05分＞

司 会：兵田 勝弘(日本ペイント(株))				
③	14:05 ～ 14:35	鋼構造物の塩分除去と無溶剤１液型無機系材料（ＳＩＣ）による金属溶射および塗装の技術	○猪狩 達夫 (株)中央コーポレーション	高木録郎((株)HART) 福島正也(大和化成(株)) 西澤善弘((一社)ＦＳＳ工法協会)
④	14:35 ～ 15:05	塩の影響により腐食させた鋼板のさび中塩分量に関する一考察	○坂本 達朗 (公財)鉄道総合技術研究所	前田貴登((公財)鉄道総合技術研究所)

＜休　憩：15時05分～15時20分＞

司 会：松野 英則(大日本塗料(株))				
⑤	15:20 ～ 15:50	異なる地域に暴露した裸鋼材の腐食性状について	○武中 宏樹 (国研)土木研究所	冨山禎仁((国研)土木研究所) 加納泰平(関西ペイント(株)) 土岡育朗(関西ペイント(株)) 松木　大(日本ペイント(株)) 小林泰之(中国塗料(株)) 田代　稔(神東塗料(株)) 澤口大輔(大日本塗料(株))
⑥	15:50 ～ 16:20	重防食用塗り替え塗装系の性能評価（２次） －暴露１年後の調査結果－	○加納泰平 関西ペイント(株)	土岡育朗(関西ペイント(株)) 冨山禎仁((国研)土木研究所) 武中宏樹((国研)土木研究所) 松木　大(日本ペイント(株)) 小林泰之(中国塗料(株)) 田代　稔(神東塗料(株)) 澤口大輔(大日本塗料(株))
⑦	16:20 ～ 16:50	塩害地域向け塗装仕様の高耐久化に関する検討 ― さび面適性下塗り塗料の評価手法と上塗り塗料設計 ―	○宮田敦士 日本ペイント(株)	富岡健吾(日本ペイント(株))

【第２日】 10 月 23 日（金）

司 会：小林 泰之(中国塗料(株))				
⑧	10:30 ～ 11:00	大型試験桁を用いた新技術による新設・塗替仕様の沖縄暴露試験　11 年目調査報告	○大庭 哲也 (一社)日本橋梁建設協会 技術委員会 製作小委員会 防食部会	輪玉剛士((一社)日本橋梁建設協会) 花輪　務((一社)日本橋梁建設協会) 前川清隆((一社)日本橋梁建設協会) 冨山禎仁((国研)土木研究所)
⑨	11:00 ～ 11:30	腐食環境の厳しい鋼鉄道橋の塗替え工事に適用した常温金属溶射の耐久性評価	○佐藤 和久 西日本旅客鉄道(株)	瀧本一也(西日本旅客鉄道(株)) 中山太士(嵯峨野観光鉄道(株)) 坂本達朗((公財)鉄道総合技術研究所)

＜昼　休：11 時 30 分～12 時 45 分＞

特　別　講　演	（司会：冨山 禎仁（ 前掲 ））	
12:45～13:45	塗膜下耐食鋼について	一般社団法人日本鉄鋼連盟 菅江清信（日本製鉄㈱）

＜休　憩：13 時 45 分～14 時 00 分＞

司 会：西井 真奈人(宮地エンジニアリング(株))				
⑩	14:00 ～ 14:30	パルスレーザーの現場施工事例の紹介	○細田　武 (一社)日本パルスレーザー振興協会	三羽和紀((一社)日本パルスレーザー振興協会) 平山武夫((一社)日本パルスレーザー振興協会)
⑪	14:30 ～ 15:00	局部補修塗装ロボットの開発(製作、室内試験)	○中村 将秀 本四高速道路ブリッジエンジ(株)	堀　博貴(本四高速道路ブリッジエンジ(株)) 勝原　宙(本四高速道路ブリッジエンジ(株)) 西村徹也(本四高速道路ブリッジエンジ(株)) 大浦義司(本州四国連絡高速道路(株)) 青木卓也((株)スギノマシン)
⑫	15:00 ～ 15:30	透明型ボルトキャップつばのみ充填法の水蒸気移動特性と防食性に関する検討	○矢ヶ部菜月 ㈱ＩＨＩ	淵脇秀晃（琉球大学） 下里哲弘（琉球大学）

＜休　憩：15 時 30 分～15 時 45 分＞

司会：田代　稔(神東塗料(株))				
⑬	15:45 ～ 16:15	没食子酸誘導体を添加したエポキシ塗膜の防食挙動と界面力学特性	○藤井 義久 三重大学大学院 工学研究科応用化学専攻	安田智深(三重大学大学院) 安田信太郎(三重大学大学院) 鳥飼直也(三重大学大学院)
⑭	16:15 ～ 16:45	無機系塗料の鋼道路橋塗装への適用に関する検討	○川上 雄平 日本ペイント(株)	冨山禎仁((国研)土木研究所) 武中宏樹((国研)土木研究所) 岡　浩司((株)トウペ) 太田伶美(関西ペイント(株)) 青山知寛(中国塗料(株)) 花井亮雅(大日本塗料(株)) 尾形尊護(日研(株)) 浦島　強((株)サーフェーステクノロジー)
16:45～16:50	閉会の辞	鉄構塗装技術討論会 実行委員会 幹事長：坂本 達朗（ 前掲 ）		